

セキュリティ強化のためにIT運用管理を始めたい!けど……

ひとり情シスで 手が回らない



サイバー攻撃や人的ミスによる組織の情報漏洩が年々増加。対策として、PCなどのIT資産を適切に運用管理することが重要です。

しかし、組織の規模によっては管理者のリソースが足りず、手が回らないことも……。

IT運用管理はやるべきことがたくさん!

- IT資産の利用状況把握・管理
- ソフトウェアの脆弱性対策
- 機密情報の取り扱い状況の確認
- トラブル発生時の調査
- データ持ち出しなどの内部不正対策
- マルウェア感染を伴う操作の制限
- USBデバイスの管理・使用制限

⋮

すぐ始められるIT運用管理 **M1 Cloud Edition**

エムワン クラウド エディション

新登場

専門知識がなくてもクラウドで手軽に
これらの管理業務をサポート!



ITにあまり詳しくなくて、導入するのが難しそう……

**インターネット環境さえあれば
簡単に利用いただけます**



**POINT
1**

サーバーやVPNは不要

インターネット接続だけで利用できるため、専門知識や時間をするサーバーの構築、VPNなど通信環境の整備は不要です。

**POINT
3**

PC1台から導入可能

管理できるPCは1~20,000台。PC台数の少ない環境など、規模に応じて導入いただけます。

月額利用料 (1台あたり)	契約台数 1~9台	10~99台	100~249台	250~2,499台	2,500~20,000台
	800円	600円	550円	500円	400円

**POINT
2**

導入コストを抑えられる

ライセンスの初期費用やサーバーなどの機器調達が不要のため、導入コストを抑えられます。



**毎日忙しくて管理業務に手間をかけられない
いちから使い方を覚える暇もない……**

**運用・保守にかかる手間や
難しい操作を覚える必要はありません**



**POINT
1**

サーバーのメンテナンスが不要

クラウド上にあるサーバーのメンテナンスは弊社が対応。日々の運用管理の負担を抑えられます。

**POINT
2**

クライアントPCのアップデート作業も不要

PCのエージェントプログラムのアップデートもすべて弊社が実施。継続的に発生するアップデート作業の負担を軽減できます。

**POINT
3**

使いやすさにこだわったWeb管理画面

管理画面はWebブラウザを利用するため、専用のソフトウェアをインストールする必要はありません。また、シンプルな画面を搭載しているため、初めてでも直感的にお使いいただけます。

ソフトウェアNo.	アプリケーション名	プラットフォーム	カテゴリ	製品名
1	Adobe Application Professional 002	Windows	未分類	Adobe Application Professional
2	Adobe Application Professional 003	Windows	未分類	Adobe Application Professional
3	Adobe Application Professional 006	Windows	未分類	Adobe Application Professional
4	PSH photo	Windows	未分類	PSH photo

**テレワーク時も
Webブラウザから
利用可能！**



IT運用管理と言っても、 何から始めたらいいかわからない!

初めてIT運用管理ツールを使う方に向けて機能を厳選、
管理業務の基本から取り組んでいただけます



STEP 1 資産管理

組織にあるIT資産を管理する

まずは業務で利用するPCとソフトウェアを管理することが必要です。「資産管理」機能では、PCはもちろん、各種ソフトウェアの利用状況や更新状況が管理可能。ライセンスの不正利用対策や脆弱性対策に役立てられます。



ライセンスの不正利用対策

ソフトウェアの脆弱性対策

STEP 2 ログ管理

トラブルに備えてログを取得する

機密情報の取り扱い状況の確認やトラブル発生時の調査が行えるように、日々のPC操作を記録する必要があります。「ログ管理」機能では、PC操作をログとして取得し「いつ」「誰が」「何をしたのか」を検索・確認できます。



機密情報の取り扱い確認

トラブル発生時の調査

STEP 3 アラート

セキュリティリスクを伴うPC操作を制限する

内部不正やマルウェア感染を防ぐためにも、リスクを伴うPC操作を制限しなければいけません。「アラート」機能では、データのWebアップロードや特定のWebサイト閲覧など組織のポリシーに反する操作を検知、制限できます。



データ持ち出し対策

マルウェア感染を伴う操作制限

STEP 4 デバイス管理

USBデバイスの使用を制限する

大量のデータを持ち運べるUSBデバイスからの情報漏洩を防ぐために、USBデバイスの使用を制限することも必要です。「デバイス管理」機能では「読み取り専用」「使用不可能」といった制限をデバイスごとに割り当てられます。



USBデバイスの管理・使用制限

機能一覧

資産管理	ハードウェア一覧	コンピューター名やメモリサイズ、HDDの暗号化状態など、PCのハードウェアに関する情報を表示
	アプリケーション一覧	Microsoft Officeやウイルス対策ソフトウェア、Windows更新プログラムなど、各種ソフトウェアのインストール状況・更新状況を表示
	ソフトウェア配布	指定したPCやグループへソフトウェアを配布・自動インストール※1
	Windows更新プログラム配布	Windows更新プログラムやセキュリティ更新プログラムを配布し、インストール
	CSVファイル出力	収集した資産情報をCSV形式のファイルで出力、組織ごとの資産管理台帳の作成などに活用
ログ管理	ログ収集	電源ON / OFFやファイルコピー、印刷やWeb閲覧などのPC操作を記録・収集
	ログ閲覧	収集したログの中から、複数条件を指定し抽出、閲覧
	CSVファイル出力	任意のログをCSV形式のファイルで出力、統合ログ管理システムなどで活用
	ログデータのバックアップ	収集したログはクラウド上に1年間保存、1か月単位でCSV形式のファイルとして出力可能
アラート	アラート端末表示	管理画面上でアラートを通知、PCの不正操作や誤操作を早期把握
	端末未起動	指定した期間起動されていないPCを検知、余剰資産削減の検討などに活用
	ウィンドウタイトル	指定したキーワードを含むウィンドウタイトルがアクティブな状態になった際に検知
	アプリケーション実行	特定のアプリケーションが実行された際に検知、業務に関係ないアプリケーションの使用抑止に
	Web閲覧	指定したタイトルやURLのWebサイトが閲覧されると検知、業務に関係ない閲覧を制限
	Webダウンロード / アップロード	ファイルのダウンロードやアップロードを検知、マルウェア感染や情報漏洩のリスクを軽減
デバイス管理	デバイス台帳登録	USBデバイスは専用ツールを用いて手軽に台帳登録
	デバイス種別 / 部署別制限	使用可能 / 読み取り専用 / 使用不可能といったデバイス種別の使用制限を部署ごとに割り当て
	記憶媒体使用 / 書き込みアラート	USBデバイスの使用や書き込みが行われた際にアラート検知
その他	部署情報付き インストーラー作成	部署情報を自動で設定するインストーラーの作成が可能

※1 配布登録できるソフトウェアの合計サイズの上限は20GBです。

導入相談Cafe

お申し込みはこちら



Sky導入相談カフェ



オンラインにて無料でご相談いただけます。

商品のご導入やお貸し出しなど、お気軽にご相談ください。



特典1



導入相談Cafeに参加いただいたお客様には、もれなく

「QUOカード 500円分」
プレゼント

特典2



概算のお見積もりを提出させていただいたお客様には、

「QUOカード 5,000円分」
プレゼント